

私は、大きく4点、質問させていただきます。

まず、北区の将来を担う子どもたちのために、です。

最初に、学校における法教育のさらなる充実について質問します。

現在、中学校を中心に税理士、社労士、行政書士といった法律のスペシャリストの方々に法教育をお願いしています。

コロナ禍であったこともありますが、現状、開催の有無は各学校に任されていて、採用されなかった学校では、重要な学びの機会を失ってしまっていると考えます。

本来の授業との兼ね合いもあり、定期的な開催は難しい状況であることは理解できますが、これら法教育は、「生きる力」を学ぶ大事な機会です。知っていたら、生活において人生において助かることができるケースがたくさんあるのです。

学生の時にこそ、しっかりと学ぶべきことです。全ての学校のカリキュラムの中に組み込むべきではないでしょうか。

① そこで質問します。北区の法教育について、どのように捉え、考えているのか、また、なぜ進んでいかないのか、現状の課題と展望について、お答えください。

対象の士業の方々からお話を聞くと、かなりの事前準備と人員の確保などが生じております。やるからには、しっかりと内容も伴わせるために、予算をつけて取り組むべきだと考えます。

② 法教育について、予算化をするべきだと考えますが、区の判断をお聞かせください。

次に、小・中学校や保育園等におけるアレルギー、宗教食への対応について質問します。

北区においては、小・中学校の給食費が無償化され、非常に喜ばれています。そして、アレルギーや宗教上の理由で給食をそのまま食べることが出来ない子どもたちのためには、お弁当対応として給食費分の費用をご家庭に補助しています。この北区の英断に、改めて感謝を申し上げます。

しかしながら、ご家庭での準備の負担も含めて、こういった配慮が必要な子どもたちへの対応は、保育園等も含めて今後も考えていかねばならない課題です。

そこで質問します。

③現状でのアレルギーのある子どもの給食の対応、また宗教食が必要な子どもたちの対応はどこまでできているのでしょうか。

保育園や小学校、中学校、また公立や私立といったことで、対応の違いなどはあるのでしょうか。お答えください。

④ そして、そもそも、こういった配慮が必要な子どもたちへの対応を区としてどう捉えていて、今後どのようにしていくべきと考えているのか、教えてください。

特に宗教食については、現場でなかなか対応するのが難しいと聞いています。調理器具などを別にしなければいけないなどの課題もあります。園や学校でできることは限度もあるでしょう。

- ⑤ そこで提案なのですが、それぞれの現場で、対応できるように進めていただけないでしょうか。また、現場での対応が難しいところに関しては、外部委託して配達するなどの工夫はできないでしょうか。それぞれご回答をお願いいたします。

次は、子どもたちの心の健康を守るためにできることについて、です。

2022年の全国の小中高生の自殺者数は、514人で過去最高になりました。

北区では「子ども相談ポスト」の開始や、各児童館に設置された「子どもなんでも窓口」、東京都の取り組みである「相談ほっとLINE@東京」の周知推進など、さまざま子どもたちの心を守る取り組みを積極的にしてくださっている姿勢に敬意を表します。

こういった取り組みが進めば、よりSOSを発している子どもたちのケアが進むのでは、と期待をしています。

今回、私が取り上げたいのは、周囲に助けを求めることができない子どもたちに、どう寄り添っていくか、という問題です。

自殺の危機が迫った子ほど「助けて」と声を上げられずにいます。また、周囲の大人は心配な子どもがいても、自殺について何をどう聞いて良いかわからないという実態もあります。

昨年の第4回定例会で古田しのぶ議員が提案していたRAMPSの早期導入が、声を上げることができない子どもたちをこちらから手を差し伸べに行けるきっかけになるのでは、と考えます。

RAMPSとは、子どもたちの自殺のリスクを特別なソフトを使って見つけようという取り組みで、精神不調アセスメントツールとして使われる自殺リスク判定ソフトです。

RAMPSはさりげない質問から、「今日ご飯を食べた？」や「いつもどんな気持ちでいる？」など、徐々に質問項目が変わっていき、その分析も医学的見地も入った分析になるなど、専門的な見地からの分析ができるようになっています。

- ⑥ まず、お伺いしたいのですが、北区の児童生徒に対する自殺対策の取り組みについておきかせください。
- ⑦ 古田議員への定例会の回答では先行自治体の調査・研究、との事でした。いじめや、SNSトラブルの対策にもつながる、このRAMPSの早期導入を検討すべきと考えますが、区その後の調査結果と見解を求めます。

大きく 2 点目は、北区内のスポーツ振興についてです。

まずスポーツ選手やプロスポーツチームとのさらなる連携強化について質問します。

オリンピック選手や日テレ・ベレーザ、など、北区に縁するスポーツ選手やパラスポーツ選手、またプロスポーツチームが、北区スポーツ大使になっていただき、北区を盛り上げてくれています。NTC を擁する我が北区において、スポーツ振興でトップランナーになっていくことは重要な取り組みだと考えています。先日のサッカー女子 W 杯での赤羽体育館におけるパブリックビューイングでも、日テレ・ベレーザの関係者の方々にもいらしていただき、プロの目線で盛り上げていただきました。

北区スポーツ大使をはじめとした、各スポーツ選手や団体と、今後どういった取り組みをしていけるのか、前向きに検討を進めるべきと考えています。

- ⑧ 特に子どもたちにスポーツの魅力を伝えることは非常に重要と考えております。今後の学校教育に、どのように彼らに協力していただけるか、お考えはありますでしょうか。
- ⑨ また、身近にスポーツを感じていただくため、大人・子どもにかかわらず、地域スポーツ団体や自治会などでの、教室や講演などを充実していただきたいのですが、選手や団体との地域連携については今後どのように進めていくか、北区の構想をお聞かせください。
- ⑩ また、スポーツの拠点となるような施設などを建設することで、地域とふれあえる機会を増やしてはいかがでしょうか。既存の場での展開もできるのであればより良いですが、たとえば既存の建物の移転時や遊休地、さらにはこれから建て替えて控えている「桐ヶ丘体育館」などをそのような場にできれば良いのではないかと考えていますが、区のお考えをお聞かせください。

次に、区内にさらなるスポーツ施設の取り組みを増やしていけないか、ということです。

スケートボード、3×3、BMX、ボルダリングなど、若者を中心として、2021 年に行われた東京オリンピックを契機に人気が上がっているスポーツができる施設は、北区にはまだまだ少ないのが現状です。

- ⑪ NTC のある北区の新たな魅力を発信するツールとしても有効なこれらのスポーツが出来る施設を区内に整備することはできないでしょうか。

12、特にストリート系のスポーツは、音の問題、治安の不安が心配されています。河川敷でしたり、高架下が設置可能とイメージされることが多いですが、可能ならば屋内型で作っていくことはできないでしょうか。

音の問題を解消するだけでなく、教室を開くなど施設として運営していくことで、スポーツとしての価値を高めると同時に、治安を含めた安全性を確保することができます。以前にも新潟県村上市のスケートボードパークをご紹介しましたが、複合施設として運用していくことができればより魅力ある施設となると考えますが、いかがでしょうか。

3つ目は、e スポーツ、シルバーe スポーツの普及についてです。

全国、全世界で人気が上がっている e スポーツ。プロ選手なども誕生していて、若者向けの新たなコミュニティとして非常に有効なツールです。年齢、性別、障がいの有無などに囚われずらい、新しいコミュニケーションツールとしても注目されています。

そして、高齢者向けのシルバーe スポーツは、認知症予防、引きこもりがちな単身高齢者の外出促進に有効なツールとして注目を集めています。シルバーe スポーツは、年に 1 回、都道府県単位で開催されている、高齢者福祉イベント、「ねんりんピック」の 2024 年開催予定の鳥取大会で、正式種目にもなりました。

私自身、先日、さいたま市で行われた、さいたま市民ネットワーク主催のシルバーe スポーツワークショップに参加。さいたま市では、市内の高齢者施設 10 ヶ所でシルバーe スポーツを実施しているそうです。ワークショップには 91 歳の方が参加されていて、相撲のゲームで見事に勝利されていました。今後の高齢者施策の一つとしても注目すべきものと考えます。

そこで質問します。

13、民間とも連携をして、e スポーツ、シルバーe スポーツの普及促進に力を入れるべきと考えますが、いかがでしょうか。

14、また、これらの環境を整えるためには区内施設の Wi-Fi 環境の整備が必須になります。北とぴあや赤羽会館で進められた Wi-Fi 環境整備は一般利用の面でも大変に喜ばれていますが、後の導入計画はどのようになっているのでしょうか？

大会を開くために体育館などの大型施設への導入とともに、特にシルバーe スポーツに関しては、地域振興室、ふれあい館への Wi-Fi 環境整備を優先していただきたいと考えます。

15、また、自治会集会所への Wi-Fi 環境整備にも支援をしていただきたいですが、いかがでしょうか。

3 点目は、動物との共生社会構築についてです。

最初に、飼い主のいないネコ不妊去勢手術費助成制度の拡充について質問します。

現在の制度においては、オスネコについて 5000 円、メスネコについて 10000 円を上限に、手術費の 3 分の 2 の助成金が出ることになっています。地域猫を増やさないためにボランティア活動されている方々にとって大事な制度ですが、費用の負担は多岐にわたるため、さらなる拡充が必要です。

16、助成金の額もさらに増やしていただきたいこととともに、対象を飼い猫にまで拡大することはできないか、また、獣医師会と連携をしていただき、他区の動物病院でも制度の対応ができるように地域連携をしていただきたいのですが、今後の制度の拡充について、区はどのように考えているのか、お答えください。

次に、地域猫活動ボランティア登録制度の創設についてです。

コロナ禍もあり、ここ数年、地域猫活動の連絡協議会スタートに向けた取り組みが事実上ストップしてしまっていたことは、大変に残念です。動物愛護推進委員の方々がさまざま協議してくださっていると伺っており、区の担当部署の方々もご苦労されているかと推察されます。

地域猫活動ボランティア登録制度は近隣では板橋区や荒川区、豊島区など、徐々に整備されてきていると認識しています。北区でも、1日も早い創設を望む声をたくさんいただいています。ルール化することで、ボランティアの方々が誤解なく明確な活動ができるようになり、地域においては、ネコの被害に悩まされることが少なくなります。

17、少しでも前に進めていくことが重要であると考えますが、例えば、区内で活発に活動されているボランティア団体の方々の代表者を、新型コロナもまた増えてきていますので、全体を集めることだけではなく、個別でまた一部の方で集まっていただくところから始めることはできないでしょうか。できることから始めていくことが重要です。

今後の取り組みについて、区のお考えをお聞かせください。

次は、ドッグランの整備について質問します。ドッグランについては、山田区長の政策にもあり、大変区民の皆様から注目を集めております。ぜひ、早期の実現を求めます。

18、整備に向けてお伺いします。場所についての候補地は決まっているのか、運用・ルールはどのような形を考えているのか等、現在どのような施設をお考えなのか、その構想をお聞かせください。

19、また、地域の配慮、糞尿などの被害の防止、人員などのコストなど、課題もあるかと思いますが、こういった課題があるかも、お示しください。

最後に、桐ヶ丘・赤羽台地域の諸課題について質問します。

まず、桐ヶ丘における区有施設、公園、周辺環境整備についてお聞きします。

最初に（仮称）桐ヶ丘区民センター建設についてです。

（仮称）桐ヶ丘区民センターについては、基本計画でも位置付けられており、地元でも整備を待ち望む声が高まっております。

区でも内部検討は進められていると思いますが、桐ヶ丘区民センターの整備にあたっては、施設が老朽化している赤羽西 5 丁目の赤羽西図書館の複合化をご検討いただければと思います。

複合化により図書館を設置するにあたっては、地域のみなさんの憩いの場・学びの場になるような図書館にしていきたいですが、せっかくの新施設です。その施設ならではの集客を望める工夫をしていただきたいです。

先日、熊本県合志市の「合志マンガミュージアム」を視察して参りました。妖怪と忍者を特集していて、ゆるキャラでは日本一有名な「くまモン」を各有名漫画家に書いてもらい、展示するなど、来客者を惹きつける素晴らしい工夫がされていました。

そこで質問します。

20、（仮称）桐ヶ丘区民センターに複合化されるにふさわしい図書館としては、どのような図書館か、区のお考えをお聞かせください。

21、また、地域からは、喫茶店の併設も強く要望されています。桐ヶ丘だけではなく、赤羽西 5 丁目、赤羽台の方々からも、地域にゆっくり過ごせる喫茶店が少ないと意見をいただいているところです。西側の東京都の商業施設等の取り組みとの兼ね合いもあるかと思いますが、少なくともこのエリアに喫茶店を入れていくことはできないでしょうか。

また、喫茶店の運営を、障がい者施設に委託することはできないでしょうか。

次に、桐ヶ丘体育館改築について質問します。

前々回の東京オリンピックを記念して建てられた、東京オリンピック記念桐ヶ丘体育館ですが、建て替えを前提としているため、冷暖房設備がありません。

こちらも今後の改築となるかと思いますが

22、現在の桐ヶ丘体育館の改築の進捗とスケジュールを改めて教えてください。

23、その上で、今後の桐ヶ丘中央公園再整備などと併せて考えますと、老朽化が進む桐ヶ丘プールとの一体化も必要ではないかと考えます。屋内プールの導入を求めたいのですが、改めてご見解をお聞かせください。

24、そして、トレーニングジムとの併設で、地域の方にも利用いただけるよう、民間の力を利用してスパなどの浴場施設も導入していただき、銭湯が 1 軒も無くなってしまっている同地域へのコミュニティ創出を是非ともお願いしたいです。こちらも見解をお聞かせください。

い。

次に桐ヶ丘 2 丁目の都有地について質問します。

現在、八幡小学校北の桐ヶ丘 2 丁目地域は古い都営住宅の解体が終わり、一部新しい都営住宅の建設が始まっています。

25、このエリア旧保健所のあった交差点近辺には、全くお店がないことから、地元の方々から、ぜひ東京都にスーパーやコンビニなどの商業施設を誘致してもらえないだろうかとたくさんの方の要望をいただいています。

東京都にも計画があるのでしょうか、その計画の中に、例えば何らかの施設を建設するのであれば 1 階を店舗にさせていただくなどの、働きかけを行っていただけないでしょうか、区のお考えをお聞かせください。

最後に、赤羽台けやき公園の活用について質問します。

赤羽台けやき公園は、先日もドイツから視察が来るなど、防災公園、インクルーシブ公園として地域だけではなく、地域外からも遊びに来ていただける公園になっています。こういった公園を整備していただけたこと、大変に感謝申し上げます。また、これから残りの 4 分の 1 の建設も始まりますので、さらに使いやすい公園になっていくことを望んでいます。そこで質問です。

26、現在、できたばかりということもあり、日よけになる場所が少ないのが、熱中症対策として不安視されております。公園の機能を損なわない範囲で、炎天下の日除け対策はできないものかと要望されており、これについてできることがないか、見解を求めます。

27、また、下水道の工事のために囲われている、残りの公園スペースの現状での進捗とスケジュールはどうなっていますでしょうか。

28、法善寺交番の移設も完成を待たれるところですが、こちらの現状とスケジュールも併せてお答えください。

以上で、私の質問を終わります。ご清聴大変にありがとうございました。